

# 後発医薬品（ジェネリック医薬品） 使用への取り組み

枚方公済病院では、患者負担の軽減と日本全体の医療費の効率化を目的として、入院および外来において後発医薬品（ジェネリック医薬品）を積極的に採用しています。

ご不明な点がございましたら、主治医または薬剤師にお尋ねください。

## <参考>

後発医薬品（ジェネリック医薬品）は、先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安くなっています。後発医薬品を普及させることは、患者負担の軽減や医療保険財政の改善に資するものです。

このため、厚生労働省では平成 25 年 4 月に「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」を策定し取組を進めてきました。

～中略～

目標の実現に向け、より一層、後発医薬品の使用促進のための施策に積極的に取り組んでいます。

引用：厚生労働省ホームページ

# 患者さまへのお願い

枚方公済病院では、後発医薬品の使用促進を図るとともに、医薬品の安定供給に向けた取り組みを実施しています。現在、一部の医薬品で十分な供給が難しい状況が続いています。

医薬品の供給が不足した場合は、処方変更や治療計画の見直し等で適切な対応ができる体制を整備しております。また、状況によっては薬剤が変更となる可能性がございます。その場合には、患者さまに十分な説明をさせていただきます。

院外処方箋では、後発医薬品のある医薬品について、特定の医薬品名を指定するのではなく、薬剤の成分をもとにした一般名処方（一般的な名称により処方箋を発行すること※）を行っています。一般名処方によって特定の医薬品名が不足した場合であっても、患者さんに必要な医薬品が提供しやすくなります。

ご不明な点やご心配ごとがありましたら、医師または薬剤師にご相談ください。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※一般名処方とは

お薬の「商品名」ではなく、「有効成分」を処方箋に記載することです。そうすることで供給不足のお薬であっても有効成分が同じ複数のお薬が選択でき、患者さまに必要なお薬が提供しやすくなります。

枚方公済病院では「バイオシミラー」を積極的に使用しています

バイオ医薬品をお使いのみなさまへ

# 効果や安全性はそのまま 経済的負担を軽減する



**「バイオシミラー」**  
というお薬があります

**バイオシミラーとは？**

- ジェネリック医薬品と同じように、先行バイオ医薬品の特許が切れた後に他の製薬会社から発売されるお薬です
- 先行バイオ医薬品と同等/同質の品質、安全性および有効性が様々な試験により確認されています
- 先行バイオ医薬品よりも低価格なため、患者さんの医療費負担の軽減が期待されます

**バイオシミラーが使われている病気の例**

- ・がん・クローン病・潰瘍性大腸炎・関節リウマチ
- ・乾癬・低身長症・糖尿病・腎性貧血・骨粗鬆症 など

詳しくは医師または医療スタッフへお尋ねください

**笑顔をこれからも  
日本が世界に誇る国民皆保険を次の世代にも**

個人の医療費負担の軽減はもちろん、子供や孫の世代にも安心した医療をみんなが受けられる国民皆保険制度を守るためにも、  
私たち一人一人が考えてみませんか？

詳しくはこちら



日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会HP  
日本バイオシミラー協議会HP

日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会、日本バイオシミラー協議会

<後援> 日本医師会 日本薬剤師会 日本病院薬剤師会 健康保険組合連合会 国民健康保険中央会 全国健康保険協会

厚生労働省

ご不明な点がございましたら、主治医または薬剤師にお尋ねください。

国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院